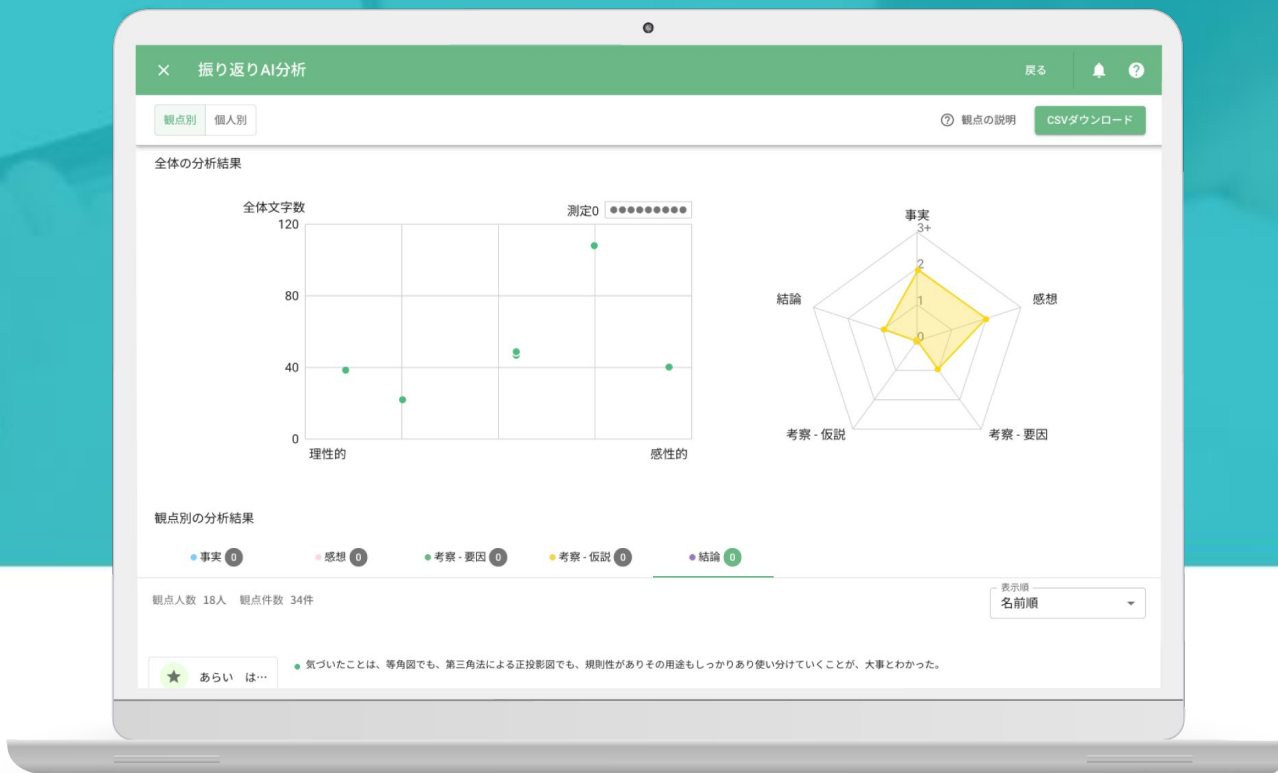


スクールタクト / ClassiNOTE

# 振り返りAI分析(β版) 実践事例集



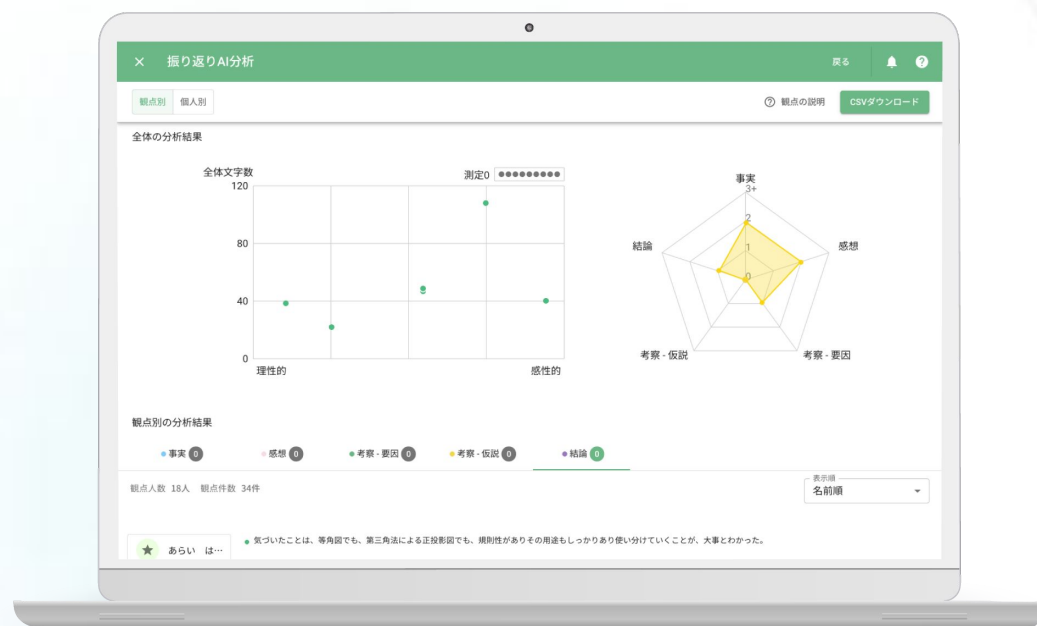
# 「振り返り」を次の学びに生かせてますか？



## 振り返りの重要性

授業における自分の学びを確認し、学習状況や自身の成長を捉えるために大切とされている「振り返り」。

文部科学省の学習指導要領の総則にも、振り返りの重要性が示されています。振り返りを「させっぱなし」にせず、自身の学びを見直し、今後の学習に見通しを立て取り組むという、振り返りと学びのサイクルはどのように作り上げていけばよいのでしょうか。



## スクールタクトの振り返りAI分析

スクールタクトの回答欄に入力された振り返りのテキストを、独自開発のAIにより、客観的かつ瞬時に振り返りの5つの観点に分類する機能です。

児童生徒の主体的・対話的で深い学びと、教員の働き方改革を同時に実現します。

# 振り返りAI分析の5つの観点

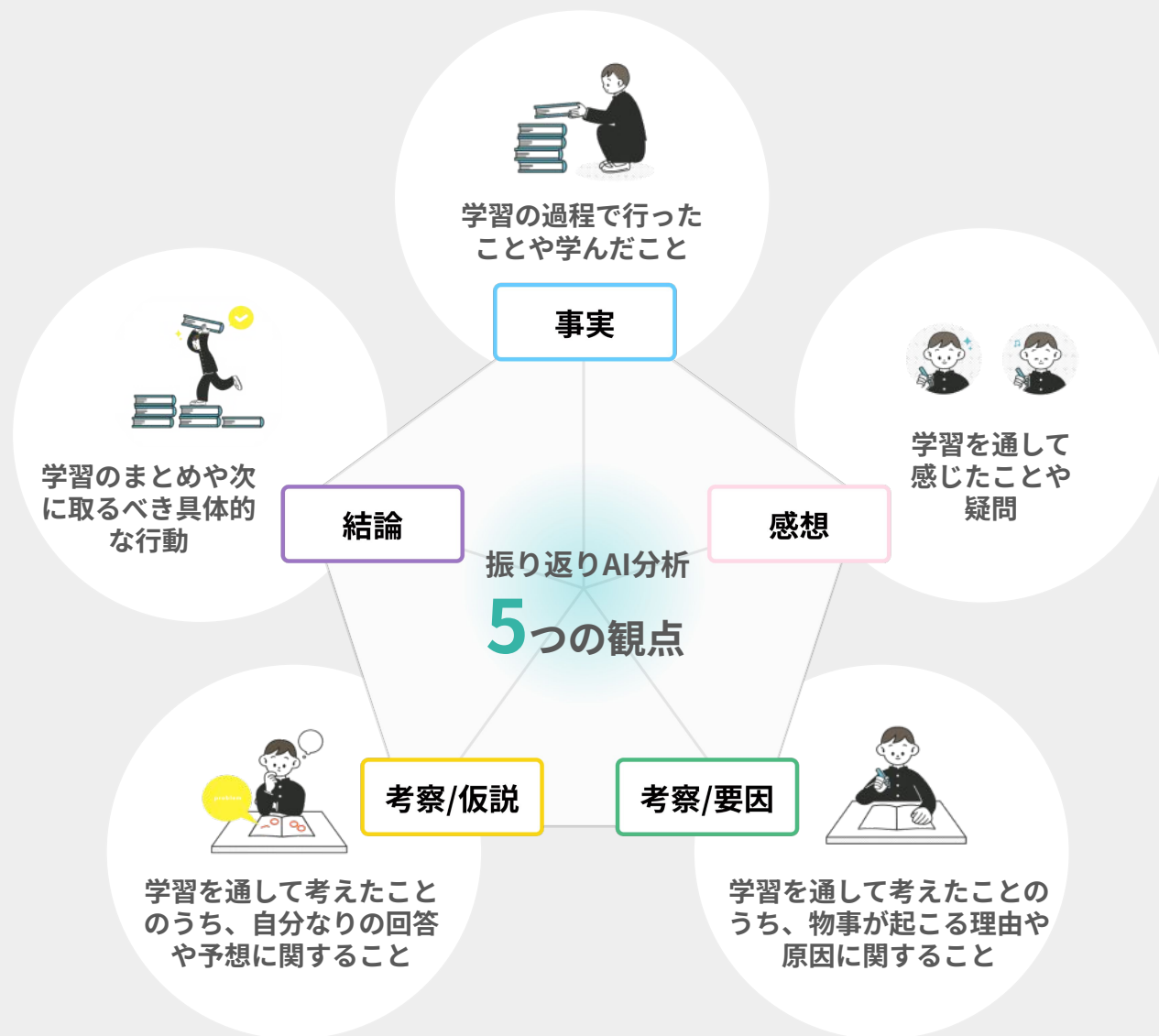


## さらなる学びやすさへ

スクールタクトでは、学習科学の理論をもとに、振り返りのためのフレームワークを考案。

振り返りAI分析では、児童生徒が入力した振り返りのテキストを、右図の5つの観点到に分類します。

先生や児童生徒同士が、5つの観点到という共通理解をもつことで、振り返りを通じた指導や学び合いが行いやすくなります。

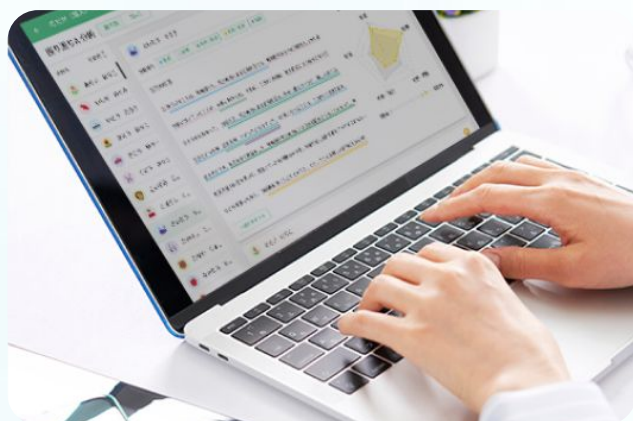




01

## 個人やクラスの 学びの傾向を把握

AIにより分析された振り返りが、レーダーチャートや散布図によって視覚的に表現されます。個人やクラス全体の学びの傾向を素早くつかむことができます。



02

## 主体的・対話的で 深い学びの実現

先生のこれまでの経験をAIによる分析結果がサポートします。振り返りの記述、分析を通じた授業改善へのサイクルを回すことで、主体的・対話的で深い学びにつなげることができます。



03

## 働き方改革を サポートします

クラス全員分の振り返りをAIが瞬時に分析します。ノートを回収して授業や行事の振り返りを読み、分析していた時間を大幅に短縮できます。



# 振り返りの活用サイクル



スクールタクト認定マスター ゴールド  
東京都・公立小学校  
白杉 亮 先生

早稲田大学大学院教育学研究科修了、修士（教育学）。教育心理学の知見を基に効果的な授業や学級経営のあり方について、日々実践と研究を重ねている。

スクールタクト認定マスターの白杉先生に、振り返りAI分析の活用のポイントや授業実践を解説いただきました。

## STEP 1 授業終わりに振り返りを書く

振り返りの視点

- わかったこと・感じたこと
- 気づいたこと・考えたこと
- 今後、取り組みたいこと

学校で取り組んでいる項目や「わがとも」の視点などいろいろな振り返りの視点でも活用できます！

## STEP 2 授業後に振り返りを分析する



ノート回収  
ノートチェック



すぐに分析

課題ごとにすぐに分析できて、  
児童生徒の見取りや評価、次の授業改善に使えます！

算数では…

Aさんは「事実」の観点が少ない。学習した内容を自分なりに言語化できていないのかもしれない。次の授業で様子を見てみよう

国語では…

Bさんは「考察-要因」が丁寧に書かれている。説明文の内容について、自分なりに根拠をもって読めたようだ

理科では…

「考察-仮説」を見ると、Cさんは実験を通して疑問に思ったことを振り返りに書いている。次の授業で全体に紹介しよう

体育では…

「結論」を見ると、Dさんは、次に取り組みたいことを具体的に書き出している。自分なりに粘り強く取り組んでいるようだ

## STEP 3 次の授業で振り返りを共有する



- 分析範囲を「先生と生徒全員」にします
- 良い振り返りを共有し、クラス全体で振り返りの質を高めます
- 子供達に自分が「いいな」と思う振り返りを探させたり、観点数が多い振り返りに着目させ、どのような内容が書かれているか読み合います

## STEP 4 単元を通して繰り返す



# 授業での「振り返りAI分析」の実践（STEP 1～3）



## 月曜 2時間目

授業開始時  
9:40～

- 授業開始時に **目標・計画** を書かせ、学習をはじめます

計画&振り返りシート

**目標・計画** 教科書の問題を全問正解する/〇問やる/どこまでやる、など  
何を使ってどれだけやるかわかるように

教科書の問題を早めに解いて、ドリルの17をすべて終わらせる。計算するときは、速さを大切にしつつ、定規もつかっていいいに計算する！

**振り返り** 目標を達成できた/できなかった、〇問までできた、〇〇が分かった/難しかった、次こうしたい など

教科書を終えることができましたが、計算ミスもあって思ったよりも時間がかかってしまいました。ドリルは一発合格できなかったけれど、17の問題を全部解けたのがうれしい。少し雑なところもあったけれど、定規を使って計算することができた。次は、ドリルの18を進める。

STEP1

授業終了時  
10:20～25

- 授業終了時に、**振り返り** を記入させます  
※より振り返りのポイントを共有しておく

## 良い振り返りのポイント

- 目標を達成できたか・できていなかったか書いている。（**事実**）
- 自分が間違えたことや、つまづきやすいところを書いている。（**事実・考察**）
- 次にどうするか書いている。（**結論**） など

## 火曜 4時間目

STEP3

授業開始時  
11:30～

- 授業開始時に **クラス全体で分析結果を共有**します



- ◎各観点の意味や書き方を上の「**観点の説明**」をクリックして見ます
- ◎自分の振り返りの分析結果を読ませます
- ◎考察や結論に着目させ、良い振り返りを書いている児童の振り返りをクラスで読みます

## 月曜 放課後

STEP2

放課後  
15:45～

- 振り返りAI分析で結果を確認します



- ◎「観点別」のページからクラスの状況をつかみます。
- ◎「個人別」のページから、**良い振り返りのポイント**に沿って書いている児童を見つけます。

# 単元を通した「振り返りAI分析」の変化（STEP 4）



## STEP4 単元を通して繰り返す

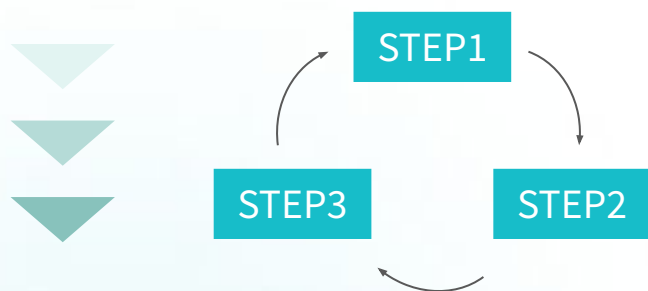
### 単元最初

● 事実 ● 結論

### 振り返り

目標を達成できた／できなかった、〇問までできた、〇〇が分かった／難しかった、次こうしたい など

教科書の2と3は、すぐに終わらせることができた。ドリルは7問目  
事実  
まで進んだけれど、3問間違っていた。次は間違えないようにする。  
結論



### 単元最後

● 事実 ● 感想 ● 考察-要因 ● 考察-仮説 ● 結論

### 振り返り

目標を達成できた／できなかった、〇問までできた、〇〇が分かった／難しかった、次こうしたい など

見直しをていねいにしたので、まとめ問題は全問正解できた。もし早く計算できたら、パワーアップ問題まで終  
考察-要因  
えられたと思う。テストでは、解き終わった後に見直して、間違いがないように確かめるようにする。  
結論



## 白杉先生のコメント

- クラスの児童の分析結果をお互いに見合うことで、「こうやって書けばいいんだ！」と振り返りを学習に生かす書き方を学んでいました。
- このスタイルの授業を積み重ねていくと、教員が言わなくても、授業の最初に前回の振り返りのキャンバスを開いて振り返りAI分析をして分析結果を読んでいました。
- 振り返りの回数を重ねるごとに、振り返りの文字数や観点数が増えました。  
左下の振り返りのように、できたことや間違えたことなどを具体的に書けるようになり、さらに、要因や仮説といった振り返りに大切な「考察」の観点も増え、振り返りの質が向上しました。
- 自分の良い取り組みや、改善したほうが良いことを意識することができたようで、「算数ができるようになった」「算数が楽しい」と話す児童が増えました。

# Case Studies

# 实践事例





# 事例目次



<b>01</b> 小4・道徳 約束やきまりを守る 道徳的価値に迫ることができたかを読み解く 感想 結論	8	<b>06</b> 中3・全教科 テストの振り返り 自分の行動を振り返る 要因 結論	13
<b>02</b> 小4・理科 季節の移り変わり 「どうして?」「もし～」で考えを深める 要因 仮説	9	<b>07</b> 中3・社会 基本的人権について考える 自分の主張をまとめる 事実 感想 考察 結論	14
<b>03</b> 小6・社会 戦国の世から天下統一に向けて 事実と要因に着目して理解を読み解く 事実 要因	10	<b>08</b> 高1・情報 AIを活用するために 理性・感性に着目して自分の意見を読み解く 感想	15
<b>04</b> 小6・算数 拡大図と縮図 考察を通して理解を深める 要因 仮説	11	<b>09</b> 高2・論理国語 評論文の読解 振り返りを通して「学習の見通し」を立てる 考察	16
<b>05</b> 小6・外国語 わたしの街 視点をもって振り返りを書く 事実 感想 考察	12	<b>事例インタビュー</b>	17

※事例は編集部で一部修正・加筆しています。※事例内の画像は、実際の画面を簡略化しています。※事例内の氏名については、仮名に置き換えています。



## 道徳的価値に迫ることができたかを読み解く

### 実践内容

約束やきまりを守ることの大切さを学ぶ授業の最後に、振り返りを通して「学んだこと」や「考えたこと」を書いて、ねらいとする道徳的価値に迫っていきます。

### ポイント

## 道徳の振り返りは「感想」「結論」に着目する

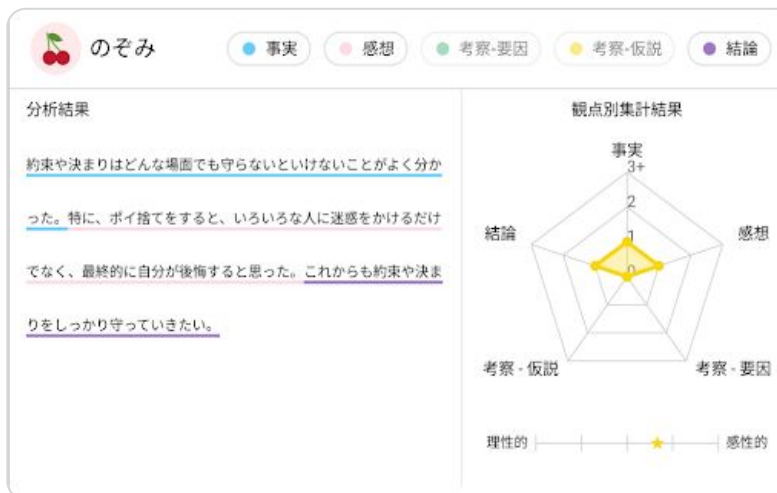
道徳的価値に迫れたかどうかを「感想」や「結論」から読み解きます。ただし、該当の観点が含まれているからといって、必ずしもその文章が道徳的価値に迫れていると判断することはできません。レーダーチャートの観点を目安にしつつ、文章を読み解く必要があります。

### コメント

本時の道徳的価値に迫ることができたかどうか、授業改善につなげていくために使っています。児童の振り返りの分析を読み解くことで、自分自身の授業の振り返りにもなります。



見る視点： ● 感想 ● 結論



# 事例02 小4・理科 季節の移り変わり



## 「どうして？」 「もし～」で考えを深める

### 実践内容

「秋の植物の様子について調べよう」という学習課題で、写真に印を付けたり書き込んだりして秋の自然の特徴をまとめました。最後に振り返りを記入し、友達の振り返りの「いいな」と思うところを見合いました。

### ポイント

## 理科の実験や観察は「考察」に着目する

理科の実験や観察では、「どうしてこうなったのか」といった要因や、「もし～だったら」という仮説に着目して、分かったことだけでなく考えたことを振り返るように指導していきます。こうした積み重ねで考える力、問いを立てる力を育みます。

### コメント

振り返りを書きっぱなしにするのではなく、お互いに見合うことで児童は多くの気づきを得ることができます。振り返りの最後の時間に、全体共有の時間を持つように心がけています。



見る視点： ● 考察-要因 ● 考察-仮説





## 事実と要因に着目して理解を読み解く

### 実践内容

教科書や資料集を使って、織田信長と豊臣秀吉の戦い方や政治の特徴について調べてまとめます。その後「上司にするなら織田信長と豊臣秀吉のどちらがよいか」というテーマで意見を書きます。授業の最後に、学習の振り返りを記入し分析します。

### ポイント

## 調べ学習の振り返りは「事実」「考察-要因」に着目する

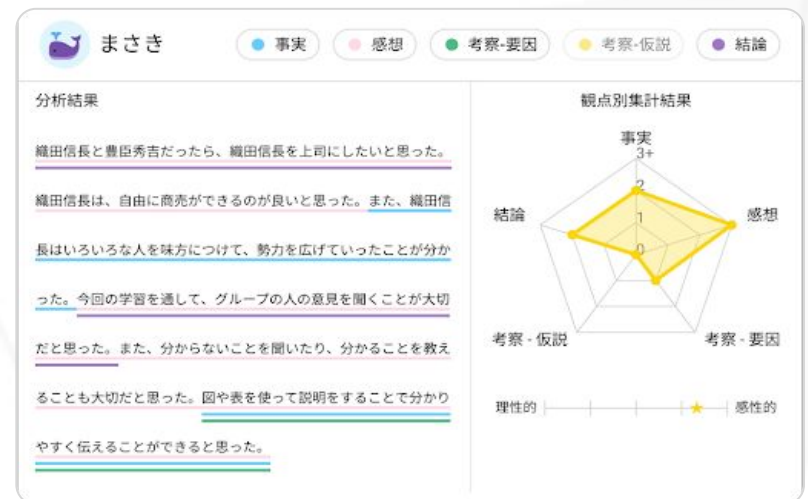
調べたことをもとに考えをまとめるので、振り返りも「事実」に着目して、児童が何を理解したのかを読み解きます。また、振り返りの質を高めるために「考察-要因」が書けている児童の振り返りを全体に共有し、「なぜ?」「どうして?」を考えるように指導しました。

### コメント

ノートに書く振り返りの時と比べて、AIの分析結果を楽しみに一生懸命に振り返りを書く姿が見られるようになりました。結果として、振り返りの質も高まっているように感じます。



見る視点： ● 事実 ● 考察-要因







## 考察を通して理解を深める

### 実践内容

単元のはじめにゴール課題となる問題を提示して、この問題を解くことができるように毎時間を積み重ねていきます。わかったこと、がんばったことなどの「わがとも」の視点から振り返りを記入し、「分かったこと」「がんばったこと」「友達から学んだこと」「もっと知りたい、頑張りたいと思ったこと」を書きます。

### ポイント

## 思考を深める学びは「考察」に着目する

算数では分かったことを書くとともに、「どうして分かったのか」を振り返ることで学びをさらに深めていくよう指導しています。「図を使って説明してもらったから」「表で整理をしたから」など、理解するきっかけになったことを書くことで、学び方を共有することができます。

### コメント

分析・閲覧の範囲を「先生と生徒全員」にしておくことで、児童は友達の振り返りを見て、気づきを深めることができます。特に、観点数が多い児童の振り返りを読んで参考にしています。



見る視点： ● 考察-要因 ● 考察-仮説





## 視点をもって振り返りを書く

### 実践内容

自分たちの住む街にどのような建物があるのかを学習し、単元（Unit）の最後に振り返りを書きました。「英語の仕組みや日本語との違い」「外国の文化への気づき」など単元目標に対応して振り返りを書くように指導しました。

### ポイント

#### 振り返りの視点を明確に伝える

単元の学習で感じたこと（感想）、分かったこと（事実）、英語の仕組みや日本語との違い（事実）、外国の文化への気づき（考察）などの視点を伝えて、振り返りを記入します。

### コメント

これまでの手書きの振り返りの時と比べて、児童が意欲的にたくさん入力している姿がとても印象的でした。分析すると、観点ごとに分類されるのでとても見やすいです。



見る視点： ● 事実 ● 感想 ● 考察

こうすけ ● 事実 ● 感想 ● 考察-要因 ● 考察-仮説 ● 結論

分析結果

この単元では、私の街を紹介することができました。「ある建物（we have）」「ほしい建物」「ない建物（we don't have）」を言い分けるのがとても難しかったです。理想の街で何ができるのかもっと詳しく英語で伝えられるようになりたいです。英語の「an」と「a」の使い分けをするのがとても難しかったです。次回の英語の授業では、使い分けを意識して取り組んでみたいです。英語の先生は、「have」と「a」をつなげて発音しているようなので、私もまねて発音してみたいと思いました。

観点別集計結果

理性的 ———— 感性的





## 自分の学び方を振り返る

### 実践内容

テスト返却時に、「テストの振り返りをするとともに、授業で行う振り返りの質や学び方を向上させていきましょう」と声をかけ、今回のテスト結果の振り返りを記入して分析します。また、振り返りの観点についての説明を読み、どのように学び方に生かしていくかを確認しました。

### ポイント

## 行動の振り返りは「考察-要因」「結論」に着目する

自分の行動を踏まえて「なぜそうなったか」「どうすればよいか」という視点から振り返りを書きます。個人別画面の観点別集計では、「考察-要因」や「結論」がどの程度書けているかどうかに着目して指導します。

### コメント

まずはAIがしっかり判定できる振り返りを書けるようになることが大事だと思いました。その上で、自分なりの振り返りの型ができるようになっていくのではないかと感じました。



見る視点： ● 考察-要因 ● 結論





## 自分の主張をまとめる

### 実践内容

基本的人権について、自分の主張を、振り返りの5つの観点をもとにしながら書くように指導しました。クラスの生徒が書いた振り返りを見合ったり、分析結果を見たりしながら修正を重ねて書き上げました。

### ポイント

#### 分析・閲覧範囲を「先生と生徒全員」にする

先生が振り返りAI分析の分析・閲覧範囲を「先生と生徒全員」にすることで、生徒が分析をすることができます。また、他の生徒の分析結果も参考にして、5つの観点を踏まえた文章を書くことができます。

### コメント

ボタン1つで生徒もすぐに分析できる手軽さがとてもいいです。5つの観点を意識して文章を書かせることで、さまざまな視点から文章を書き上げることができました。



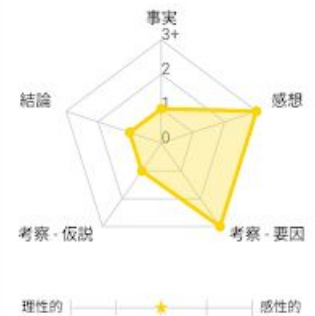
見る視点： ● 事実 ● 感想 ● 考察 ● 結論

ことね ● 事実 ● 感想 ● 考察-要因 ● 考察-仮説 ● 結論

分析結果

憲法14条にすべての国民が法の下に平等であることを学び、平等権は社会の公正さを維持するために不可欠だとわかりました。今も残っている差別や偏見は数え切れないほどあります。男女の差別や、人種など理由は様々ですが、政府によって解決案も多く出されているのでこれからどんどん改善されていってほしいと思います。また、今回の学習から、私は新しい差別や問題もでてくるのではないかとこの仮説を立てました。なぜなら今は多様化が進んでいるので平等に対する意見や反論が増えていくと思ったからです。こういった問題にも対応できるよう、正しい対策や自分たちにもできることを考えていきたいです。平等権はすべての国民にあるものなのでたくさんの意見が出るのはいいことだと思います。国民の平等はとても大切なことなので、一人ひとりの意識や行動によってこれからもよりよい社会になっていくと思います。

観点別集計結果







## 理性・感性に着目して自分の意見を読み解く

### 実践内容

AIの技術について学習した後、生成AIなど、どのようにAIを活用していけばよいか自分の意見を書きました。学んだことをもとに、感じたことや考えたことを分析しました。

### ポイント

#### 自分の意見は「感想」と「感性」に着目する

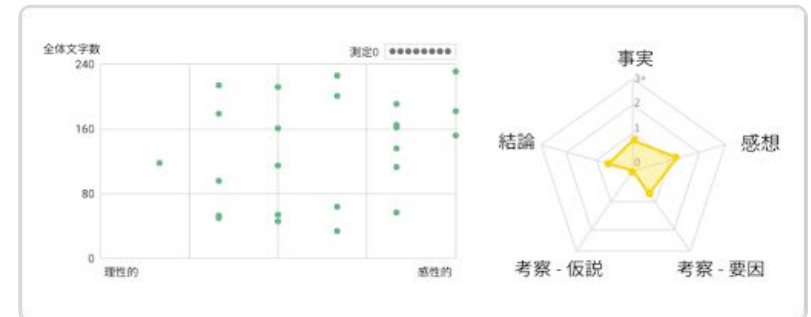
意見文など自分の考えを書く際に、論理的に考えることも大事になりますが、自分が感じたままに書くことも大切です。自分の書いた文章が「理性」傾向なのか「感性」傾向なのかを理性・感性スケールで知ることができます。

### コメント

観点別画面では集団内分布を見ることで、クラス全体として、理性的な振り返りが多いか、感性的な振り返りが多いのかを見ることができます。今まで考えたことがない新たな視点だったので、多くの気づきがありました。



見る視点： ● 感想 理性・感性スケール





## 振り返りを通して「学習の見通し」を立てる

### 実践内容

「1年半の学習を通して、学習の成果と課題をまとめてみよう」というテーマで振り返りを記入します。毎時間の授業では5観点を意識して書かせることは難しいですが、長い期間を振り返る場面では、この5つの観点を意識して振り返るよう指導しています。

### ポイント

#### 「考察」に着目して振り返りを深める

振り返りを書いて分析結果を見ることで、自らの学習を調整し、今後の学びにつなげていくことができます。特に「考察」に着目させることで、学習したことから考えを広げ、深めることができると感じています。

### コメント

これまでも「学習の成果」「今後の課題」「新たな疑問」という視点で振り返りを書かせてきましたが、振り返りAI分析はとても相性がいいと思います。今後は定期考査の振り返りに積極的に使ってみようと思っています。



見る視点： ● ● 考察

あかり

● 事実
● 感想
● 考察-要因
● 考察-仮説
● 結論

分析結果

筆者の主張を見つけるために、強調する言葉を見発する必要があることが一年半の学習を通してわかった。筆者によって使う言葉は異なるので、読みながら筆者の文章を書く癖も見つけることが、読み解くための鍵だと思う。課題は、筆者の主張の要約ができないところだと思う。本当に言いたいことを見発することが苦手なので、線引をして主張をまとめていくことで克服していけるのではないかと考えている。また、強調している言葉を見つけるのも得意ではないので、しっかり文章を読み込むことで、筆者の主張を理解することができるのではないだろうかと考えている。自分は一度読んだら2回目を読まないことが多いので、読み込むことが必要だと思う。なのでこれからは、線引もして文章を考えながら読み込んでいきたい。

観点別集計結果

理性的 ★ 感性的

# 友達の振り返りを通して気づきを得る



## 倉敷市立水島小学校（岡山県）

中西貴大教諭



——授業が終わった後、数人の児童がタブレット端末を持って私たちに声をかけてくれました。いい振り返りが書けたので見てほしいというのです。「〇〇さんの振り返り、すごいんだよ」と嬉しそうに話してくれました。

中西：どの児童も「あの子のように振り返りを書けるようになりたい」「もっといい振り返りを書きたい」と向上心があるように感じます。友達の振り返りを指標にした、いい循環ができてきていると感じていてとても嬉しいです

——振り返りAI分析の結果を先生が全体に共有しているところが印象的でした。

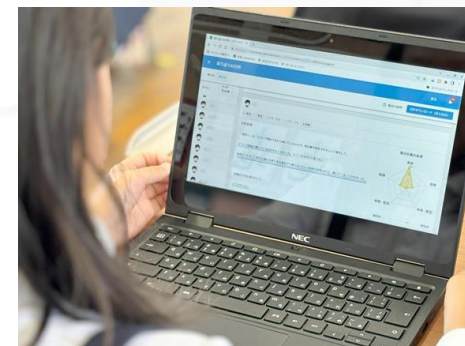
中西：「振り返りを書いて終わり」にならないように、分析結果を全体に共有したり、児童一人ひとりにフィードバックをしていきたいと思っています。やはり、教員が「どういう振り返りが大事なのか」を示すことが大切だと思っています。

——校内でも使う先生が増えてきているそうですね。

中西：はい。スクールタクトによって児童が書いた内容を先生も児童も自分たちの端末で見ることができるので、理科の先生など、専科の先生からも「ノート回収の手間がなくなった」と、とても好評です。さらに、いままで1つ1つ確認していた振り返りも、「振り返りAI分析」によって瞬時に分類されるので、児童の見取りや、授業改善がとてもやりやすくなりました。

——振り返りAI分析を通して、これから取り組んでみたいことを教えてください。

中西：今は「分析の観点数を多くしたい」というモチベーションで児童が振り返りに取り組んでいるように見えますが、今後は、観点数を追い求めるのではなく、どういう振り返りが大切かどうかという「振り返りの質」を高めていくことが大切だと思っています。それは教員の役割だと思っています。この「振り返りAI分析」を活用して、授業をさらにアップデートしていきたいと思っています。





Support

活用サポート





# 課題テンプレート



ご自身や学校内でよく使う課題を作成・登録することはもちろん、スクールタクト内に公開されている8,000点以上の公式課題テンプレートを活用して簡単に課題を作成することも可能です。振り返りAI分析用の課題テンプレートもご用意しておりますのでぜひ活用ください。

課題テンプレートを選択

全学年 ▾ 全科目 ▾ 全て ▾ FK 🔍

🔍 振り返りシート

🔍 振り返りシート

🔍 振り返りシート

🔍 振り返りシート

🔍 振り返りシート

🔍 振り返りシート

## 振り返りAI分析のテンプレートを検索するには...

①全学年・全科目・全て を選択

全学年 ▾ 全科目 ▾ 全て ▾

②検索欄に「FK」と入力後、虫眼鏡アイコンをクリック

FK 🔍

### 作成したテンプレートを登録する場合

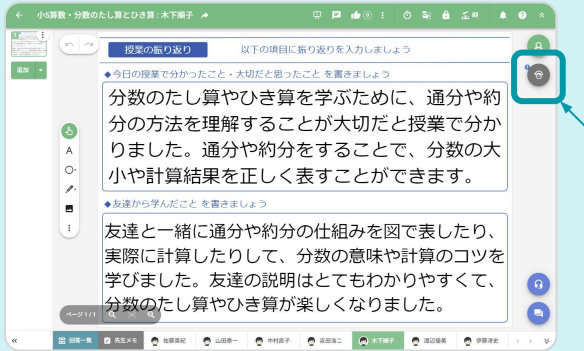
先生ご自身で作成されたテンプレートを登録する際は、タグに「**振り返り**」と「**FK**」を登録してください。

◀ スクールタクト 課題テンプレート検索画面

# 振り返りAI分析の操作方法



## 01 振り返りAI分析を始める



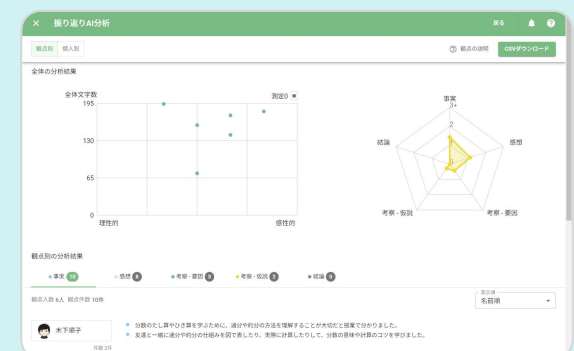
振り返りAI分析ボタンを押します。

## 02 必要な操作を行う



回答欄を選択し、閲覧・分析範囲を指定して分析ボタンを押します。

## 03 分析結果を確認する



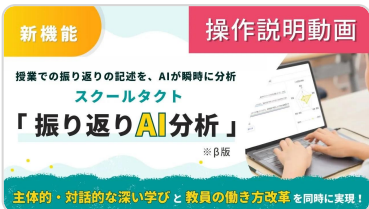
▲観点別画面



▲個人別画面

詳しくはこちらをご覧ください

### 操作説明動画 (4分27秒)



### ヘルプページ





## 操作方法について

**Q** 振り返りAI分析のボタンが教員の端末に表示されません

**A**

- ①グループ課題または黒板課題に設定されている場合、振り返りAI分析ができないためボタンは表示されません。
- ②回答一覧画面にはボタンが表示されません。先生用メモまたは任意の生徒の回答画面を開いてください。

**Q** 「回答欄がありません」と表示されます

**A** キャンバスに回答欄がありません。回答欄があるキャンバスのみ分析ができます。テキストツールで書かれた文章とペンツールで書かれた手書きの文章は分析できません。

**Q** 「すべての回答欄を選択」にチェックが入りません

**A** キャンバスに回答欄がありません。回答欄があるキャンバスのみ分析ができます。

**Q** 「分析する」が押せません

**A**

- ①キャンバスに回答欄がありません。回答欄があるキャンバスのみ分析ができます。テキストツールで書かれた文章は分析できません。
- ②分析対象の回答欄が選択されていません。1つまたはすべての回答欄の「選択する」にチェックを入れてください。

**Q** 分析結果が表示されません

**A**

- ①文章が振り返りの文章になっているか確認してください。全体の分析結果のグラフ右上にある「測定0」に●が表示されているものは振り返りの文章として認識されていません。
- ②振り返り記入欄が回答欄で作成されていることを確認してください。テキストツールの文章は分析できません。
- ③先生用メモは分析の対象外です。
- ④タイムラグが発生する場合がありますので、少し時間をおいてから再度お試しください。
- ⑤ひらがなが多い文章や日本語以外で書かれた文章など単語がAIに認識されない場合、結果が正しく反映されないこともあります。



## 分析結果について

**Q** どのような場面で活用できますか？

**A** 小学校から社会人まで、幅広い方を対象に、振り返りの場面でご活用いただけます。例えば学校教育では、学習を通して理解したことや感じたこと、気付いたことを書いたり、そこから踏み込んで自分なりに考えたこと、次の学習に繋げていきたいことを書いて分析することが可能です。1コマの授業から、単元の振り返り、学期の振り返りなど、さまざまなタイミングで活用いただけます。ただし小学校低学年の場合、ひらがなの入力が多かったり、振り返りの文章として書けていないと、正しく判定されない場合があるのでご注意ください。

**Q** どうしたら分析結果を改善することができますか？

**A** 2つの点から、振り返りの文章を見直してみてください。1つ目に、体言止めなどにせず述語のある文章にすること、2つ目に、具体的な内容を盛り込むことです。例えば、「計算ミスをしないようにすること」という文章では、「計算ミスをしないうためにどうするのか」という記載がないため、正しく判定されません。AI分析がしやすい文章を書くということは、自分の振り返りの文章を「誰かに読んでもらう」という意味もあります。この場合、「今後は計算ミスをしないうように、1問1問を丁寧に解いたり、見直しをしたりして、ミス減らす工夫を取り入れていきます」と、具体的に計算ミスを防ぐ手立てを書くことで観点も検出され、分析結果を改善できます。

**Q** レーダーチャートがきれいな五角形になるようにしたいですか？

**A** 必ずしも1つの振り返りに5つの観点をすべて含める必要はありません。教科や単元、授業内容によって、振り返りの観点は変わってきます。例えば、算数の授業を通して「分かったこと」を中心に書かせる振り返りでは「事実」に着目し、理科の実験を通して考えを書かせる場合は「考察」、体育の授業で次回に取り組むことを書かせたい場合は「結論」というように、それぞれ振り返る視点によって着目したい観点が異なります。

**Q** 理性と感性はどのような仕組みになっていますか？

**A** 現状のアルゴリズムでは、「感想」として検出したものを感性的な振り返り、「考察（要因と仮説）」として検出したものを理性的な振り返りとして、それぞれ感性と理性に分類しています。私たちは、理性的な振り返りとともに、感性的な振り返りを大切にしたいと考えています。1つの出来事に対して、頭で考えたことと心で感じたことと向き合うということです。例えば、美術で絵画を鑑賞した際に、「美しい」と感じたことを書いたなら感性的な振り返り、そこから一歩進んで「どうしてそのように感じたのだろう」という根拠を探して書いたなら理性的な振り返りといえます。現状のアルゴリズムでは、厳密に理性的な考察と感性的な考察を弁別できません。加えて、多くの振り返りが理性的な考察を中心とするもののため、感想のみを感性的な振り返りとして位置づけています。今後、アルゴリズムの改善によって弁別の精度を高めていきたいと考えています。





明日の授業のヒントが見つかるサイト

## スクールタクト活用ライブラリ



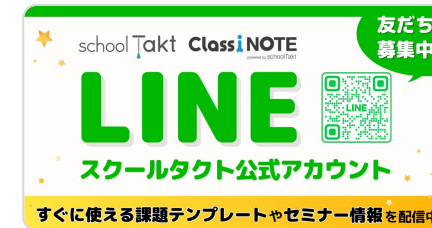
スキマ時間にスキルアップ

## Web動画研修



最新&お得な情報をお届けします

## スクールタクトLINE公式アカウント



この他にも、**ニュースレター**や**スクールタクト認定マスター**などさまざまなサポートが満載です！

# school Takt

<https://schooltakt.com>

## スクールタクトの操作体験をご希望の方



お問い合わせ

<https://schooltakt.com/contact/>



無料体験申し込み

<https://schooltakt.com/demo-request/>

※2ヶ月・先生1アカウント・生徒40アカウント  
※契約中の団体は、本機能をすでにお使いいただけます。